

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2002-108691 (P2002-108691A)

【公開日】平成 14 年 4 月 12 日 (2002.4.12)

【出願番号】特願 2000-299012 (P2000-299012)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

G 1 1 C 11/407 (2006.01)

G 1 1 C 11/401 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 6 0 F

G 0 9 C 1/00 6 1 0 A

G 0 9 C 1/00 6 2 0 A

G 1 1 C 11/34 3 6 2 S

G 1 1 C 11/34 3 7 1 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 29 日 (2007.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

図 6 を参照して 6 4 M b i t のアドレス空間 0 h ~ 3 F F F F F h のうちアドレス 0 h ~ 1 F h はロジック回路 1 8 に対する制御コマンドやデータを書込むロジック制御領域であり、アドレス 2 0 h ~ 2 F h は、ロジック回路 2 0 に対するコマンドやデータを書込むロジック制御領域である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

図 7 の制御レジスタ 7 8 は $X = 3 F F F h$, $Y = 0 0 h$ に割当てられる。モードレジスタ 8 0 は、 $X = 3 F F F h$, $Y = 0 1 h$ に割当てられる。ステータスレジスタ 8 2 は、アドレス $X = 3 F F F h$, $Y = 0 2 h$ に割当てられる。第 1 のデータレジスタ 8 4 は、アドレス $X = 3 F F F h$, $Y = 0 3 h$ に割当てられ、第 2 のデータレジスタ 8 6 は、アドレス $X = 3 F F F h$, $Y = 0 4 h$ に割当てられる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 2】

図 2 6 は、実施の形態 5 の変形例の動作を説明するための動作波形図である。

この場合には、時刻 t_1 までは、制御信号 A D D _ L は L レベルであり、通常の D R A

Mアクセスがなされるが、A D D _ L がHレベルになると、ロジック回路に対するコマンド制御モードに入る。このとき、/ W E _ L が L レベルの場合には、ライトモードが指定されて / W E _ L がHレベルの場合にはリードモードが指定される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 6】

また、S c R A Mは、特定のアドレス空間をアクセスすることで、暗号ロジック部分を制御しているので、汎用S D R A Mとピン互換を実現することができる。また、暗号機能をディスエーブルにすれば、S D R A Mとしての機能のみを使用することもできる。